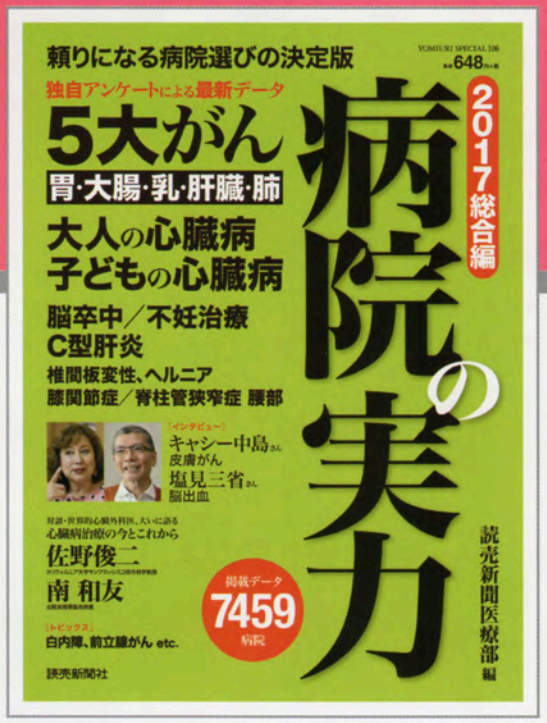
読売新聞社 発行

YOMIURI SPECIAL 106

病院の実力

2017総合編

読売新聞医療部【編】



乳がん検診・治療

乳がん検診・治療の実力施設

広告特集

2017年2月6日発売
「病院の実力」に掲載

医療法人 英仁会

大阪ブレストクリニック

外来センター

〒530-0003 大阪市福島区福島1-1-51 堂島クロスウォーク4F 大阪中之島クリニックモール内

TEL.06-6454-4108

医療法人 英仁会
大阪ブレストクリニック

検診から手術、術後治療まで乳腺専門の有床診療所として〝患者に優しい先進医療〟を提供

大阪ブレストクリニックは、それまで総合病院でなければ難しいと考えられていた乳がんのチーム医療を有床診療所で実施。2011年以降、毎年、大阪府下で最多の乳がん手術※を行うとともに、乳がん検診・検査での受診者も年々増加。「経験豊富な医療チームによる、先進の医療技術と機器を駆使した的確・快適な乳がん治療」が高い評価と信頼を得ている。

患者ひとりひとりを理解し、最適で納得の治療を

大阪ブレストクリニックでは、マンモグラフィ、エコー、ステレオ下吸引式針生検装置、CTなどの画像診断機器、11床の入院ベッドと手術室、外来化学療法室を駆使し、先進の乳がん診断と治療を行っている。

「当院に導入しているステレオガイド下吸引式針生検（ST－VAB）は、しこりになる前のエコーにも写らない極めて小さな病変にも対応でき、乳房に大きな傷をつけずに的確な判断を下すことができます。乳がん検診で石灰化病変が見つかり、その病変をがんか良性の石灰化かを鑑別する重要な検査機器です」と語るのは2005年同院を開設した芝英一院長。

同院では、遺伝性乳がん・卵巣がんが疑われる患者と家族は、遺伝子カウンセラーによる遺伝相談と遺伝子検査を受けることもできる。

2016年1月から12月には原発乳癌454例の手術を実施。うち22％が非浸潤性乳管がん（0期と呼ばれる超早期ガン）手術で、温存率も74％と高い。（乳房切除術は117例にとどまり、うち同時再建術は17例）全症例に対して、乳腺専門医、看護師、病理医、超音波検査技師、診療放射線技師が参加して術前・術後のカンファレンスを行い、治療方針が決められる。

「しこりの大きさや拡がり、悪性度、リンパ節への転移といった病状だけでなく、患者さんの年齢や性格、家庭や職場状況などのバックグラウンドもよく理解した上で、それぞれに適した治療を提供できるように努めています」と芝院長。

患者への説明も医師だけでなく、看護師や薬剤師などがその専門分野から、病状や治療法、今後の見通しや目標などについて患者とじっくり話をし、不安や疑問を取り除く努力を重ねている。患者が安心して治療に専念してもらえるように最善を尽くす。

院長
芝　英一

しば・えいいち／1977年大阪大学医学部卒業。医学博士。アメリカハーバード大学医学部留学、大阪大学医学部腫瘍外科助教授を経て、2005年に大阪ブレストクリニックを開設。日本外科学会認定外科専門医、日本乳癌学会認定乳腺専門医、NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構認定読影医、日本乳癌検診学会評議員、日本内分泌外科学会評議員。

9月開院（予定）
〒553-0007 大阪市福島区大開1丁目13
阪神電車「野田」駅徒歩約3分、大阪市営地下鉄千日前線「野田阪神駅」徒歩約3分、JR東西線「海老江」駅徒歩約4分、JR環状線「野田」駅徒歩約9分

2017年9月、新ビル移転でさらに充実した治療体制に

同院は、現在、検診専門のレディースドック、診察を受ける外来センター、手術や外来化学療法などを行う治療センターと施設が分かれているが、今年9月には、この3施設を統合したクリニックビルが福島区内に誕生する。新施設の交通アクセスの良い立地は、検診や検査を受ける人はもちろん、手術後の化学療法、放射線治療が必要な乳がん患者にとってなによりの朗報といえるだろう。免疫力や体力の低下、副作用を伴う抗がん剤治療や、連続照射が必要な放射線治療を受ける場合、通いやすいことや、勤務先の近くで治療を受けられるかがクリニック選びの重要なポイントとなるからだ。

新しいクリニックビルは、画像検査・放射線治療室（1階）、診察・マンモグラフィ・エコー（2階）、手術室・病理検査室（3階）、化学療法室・薬局・リハビリ・談話室・食堂（4階）、病室（5階）からなり、乳がんの検診・検査から手術・術後の治療・経過観察まで、乳がん患者のあらゆるニーズにきめ細やかに応えてくれる。従来通り、検査・診察・治療はすべて完全予約制で、待ち時間によるロスや体力低下を心配しないですむのもありがたい。

「乳腺専門医、看護師、薬剤師に加え、病理専門医、形成外科専門医も常勤し、それぞれの見地からいつでも患者さんの疑問や質問に答えられる体制をとります」

どこまでも患者に優しい医療が、身体だけでなく、不安に揺れる乳がん患者の心までしっかりとサポートしてくれる。

※読売新聞「病院の実力」より

HOSPITAL DATA

医療法人 英仁会
大阪ブレストクリニック

●外来センター
〒530-0003
大阪市福島区福島1-1-51 堂島クロスウォーク4F
大阪中之島クリニックモール内
TEL.06-6454-4108

■診察時間／9:00～16:00
※すべて予約が必要です。
■休診日／日曜・祝日

乳がん検診・治療

検診（マンモ・エコー）・
手術（温存・乳房再建）に実績ある病院

乳がんは克服できる時代に 必ず定期的な検診を

■取材協力／インタビュー
大阪ブレストクリニック
院長 芝 英一

しば・えいいち／1977年大阪大学医学部卒業。医学博士。日本外科学会認定外科専門医、日本乳癌学会認定乳腺専門医、NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構認定読影医、日本乳癌検診学会評議員、日本内分泌外科学会評議員。

乳がんは、今や女性の12人に1人が罹患しており、罹患者数1位と女性が最もかかりやすいがんだが、死亡者数は5位※。早期発見・早期治療で完治が期待できるがんともいえる。大阪ブレストクリニック芝英一院長に乳がんの検診と治療について話を聞いた。

※参考データ出典:厚生労働省の全国がん罹患モニタリング集計より

年に一度の定期検診 自己点検の習慣化を

ピンクリボン運動など、乳がん検診の推進活動は、長年、官民医一体となって粘りづよく行われてきたが、日本における検診率は欧米諸国に大きく遅れ、その低さが際立っています。医学の進歩に伴い、欧米では死亡率が下がっていますが、日本だけは反対に上がっています。これは日本の検診率の低さと関係しているのは言うまでもありません。乳がんは、早期発見・早期治療で完治する病気になりつつあります。定期的に乳がん検診を受け、自己点検を習慣化するなどの意識を持つことが大切です。

40歳以上の女性は、2年に1度、市区町村が検診費用の助成を行う乳がん検診を受けられるのですが、血縁者に乳がん経験者がいる方は乳がんになりやすい可能性があるので、年齢を問わず積極的な受診を勧めます。若い人は相対的に乳腺濃度が高いため、マンモグラフィーでは乳腺全体が白く写り、がんのしこりを隠してしまうことがあります。高濃度乳腺の方はマンモとエコー両方の検査が望ましいでしょう。発症率がピークを迎える40代後半から50代前半、初潮が早い、出産経験がない、閉経が遅い、肥満、家族歴があるなどリスクの高い方は毎年の検診を勧めます。

多様化する乳がん治療 同時再建で喪失感も軽減

がん宣告や乳房喪失への恐怖から受診が遅れる患者さんもいますが、異常を感じたら、できるだけ早く診察を受けてください。早く見つかれば治療の選択肢も広がります。

原発乳がんの場合、手術に抗がん剤、放射線を組み合わせた治療が一般的ですが、早期の場合、切除範囲をできるだけ小さくして乳房を残す「乳房温存手術」に再発予防として術後の放射線治療を組み合わせます。2013年に乳房シリコンを使う「乳房再建手術」が保険適用されてから乳房をすべて切除する「皮下乳腺全摘術」と同時にシリコンを入れる「一次一期再建」を希望する患者さんも増えています。乳房同時再建は術後の乳房喪失感が軽減されるので、適切と判断できれば手術を行いますが、乳房再建には幾通りも手法があるので、主治医とよく相談し、最も適した方法を選択してほしいと思います。

近年、検査方法や機器の進化から、超早期での発見や遺伝子学に基づく積極的な予防策の研究も進むなど、乳がんの検査と治療は様々進化しており、治療も患者により負担の少ないものになってきました。適切な検査と治療を受けるためにも信頼できる医師を選んでいただきたいと思います。

乳がん手術数ランキング
(2015年)

全国ランキングトップ30

順位	病院名	所在地	手術数
1	がん研有明病院	東京	1020
2	聖路加国際病院	東京	866
3	聖マリアンナ医科大学病院	神奈川	736
4	国立がん研究センター中央病院	東京	660
5	相良病院	鹿児島	607
6	亀田総合病院	千葉	600
7	埼玉医科大学国際医療センター	埼玉	489
8	埼玉県立がんセンター	埼玉	477
9	札幌乳腺外科クリニック	北海道	449
10	東北公済病院	宮城	443
11	愛知県がんセンター中央病院	愛知	440
12	昭和大学病院	東京	427
13	都立駒込病院	東京	425
14	市立広島市民病院	広島	420
15	北九州市立医療センター	福岡	415
16	JCHO久留米総合病院	福岡	394
17	順天堂大学順天堂医院	東京	390
18	県立静岡がんセンター	静岡	384
★ 18	大阪ブレストクリニック	大阪	384
20	都立多摩総合医療センター	東京	377
21	自治医科大学病院	栃木	373
21	(国)四国がんセンター	愛媛	373
23	大阪府立成人病センター	大阪	367
24	虎の門病院	東京	360
25	三重大学病院	三重	344
26	聖マリアンナ医科大学ブレスト&イメージングセンター	神奈川	340
27	加藤乳腺クリニック	滋賀	338
28	ブレストピアなんば病院	宮崎	335
29	うえお乳腺外科	大分	330
30	静岡県立総合病院	静岡	326

大阪

順位	病院名	手術数
★ 1	大阪ブレストクリニック	384
2	大阪府立成人病センター	367
3	大阪医科大学病院	273
4	大阪大学病院	266
5	近畿大学病院	240
6	大阪市立大学病院	209
7	関西医科大学総合医療センター	203
8	大阪市立総合医療センター	182
9	市立貝塚病院	177
10	大阪労災病院	174
11	(国)大阪医療センター	167
12	北野病院	161
13	JCHO大阪病院	146
14	堺市立総合医療センター	144
15	関西医科大学病院	143
16	大阪赤十字病院	139
17	八尾市立病院	137
18	市立豊中病院	122
19	大阪府立急性期・総合医療センター	118
19	ベルランド総合病院	118
21	淀川キリスト教病院	117
22	市立池田病院	109
23	市立岸和田市民病院	107
24	相原病院	101
25	住友病院	99
25	大阪府済生会千里病院	99
27	日生病院	98
28	松下記念病院	93
29	市立吹田市民病院	86
29	東大阪市立総合病院	86

読売新聞社
病院の実力2017総合編
(2017年2月発行)